

第 10 回久留米市コミュニティ審議会 会議録要旨

- 日 時 平成 24 年 12 月 27 日（木） 午前 10 時 00 分～午前 10 時 40 分
- 場 所 久留米市役所 3 階 305 会議室
- 出席委員 古賀（倫）委員、満岡委員、古賀（桃）委員、溝口委員、竹村委員、下川委員、松田委員、有馬委員、井手委員、湊本委員、中野委員、池田委員、佐藤（理）委員、今村委員、古賀（慶）委員、村井委員、江良委員、吉田委員、吉丸委員、伊崎委員 （20 名）
- 欠席委員 宇野委員、岡委員、高山委員、佐藤（光）委員 （4 名）
- 次第及び議事内容
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 議事
 - (1) 第 9 回審議会について
 - ① 会議録（案）について
 - ② 会議録要旨（案）について
《原案どおりです承》
 - (2) 答申書（案）について
 - 【主な質疑応答】
 - (会 長) 前回会議で意見のあった「久留米市のコミュニティ制度」の資料については、久留米市のコミュニティ制度の現在までの経緯についてのものであるが、記録に残すことは大事であるので、「付属資料」、「審議会に関わる資料」とは項目を別立てし、「参考資料」として掲載させていただいた。
 - (委 員) 前文の「答申にあたって」の部分について、本審議会の根幹に関わることであるので、会長より説明をいただきたい。
 - (会 長) 平成 20 年のコミュニティ審議会の答申を行う際、編入された地域の方の思いを伝えて欲しいというのが委員の方々の総意であったが、答申書本文には反映しにくいので、前文に盛り込んだ。その思いは現時点でも根強いものがあるため、それを書き込みながら校区コミュニティ組織の果たすべき役割をうたっている。

(委員) この答申書を読んで、旧久留米市と旧四町が肩を並べて進む方向としてはこの内容が妥当である。過去からの流れを踏襲して良い部分と悪い部分はたくさんあると思うので、今後も残すべき点と改良すべき点を取捨選択していくべきだと思う。

(3) 第10回審議会に関する議事録の確認について

(会長) 議事録の確認については、次回の会議において議事録を了承という手続きで進めていたが、今回は最後の会議になるので会長があらかじめ指名したものにより確認を得るものとした。議事録署名人については、副会長を指名させていただきたい。

(4) 答申書の手交について

(会長) 答申書については、来年の1月に入ってから、私と副会長で市長へ手交することとさせていただきたい。

4 その他

(事務局) 完成した答申書については、市長への手交が終了後、冊子となった段階で郵送させていただく。